

## プロビナイス フロー

### 【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

### 【形状・構造及び原理等】

本材は、粉と液を混和法、混和注入法により重合させて用いる歯科汎用アクリル系レジンである。  
歯冠色は、暫間インレー、クラウン、ブリッジ、個歯トレー等の作製に用い、歯肉色は、義歯床の修理等に用いる。

### 【構成】

構成	性状	成分
粉	粉	メタクリル酸メチルとアクリル酸 2-エチルヘキシルの共重合体、MMA-EMA 共重合体、着色材、その他
プロビナイス液 <sup>※1</sup>	液	MMA、その他

※1 歯科汎用アクリル系レジン：「プロビナイス」  
認証番号 21400BZZ00451000

粉の色調： 歯冠色 A2、A3  
歯肉色（繊維入り） 8S

### 【原理】

本材は常温重合レジンであり、粉液を混合することにより重合硬化する。

### 【使用目的又は効果】

暫間インレー、クラウン、ブリッジ、個歯トレー等の作製、義歯床の修理等に用いる。

### 【使用方法等】

【本材に使用する機械及び器具】

歯科技工用重合装置

水温を50℃以上で保温又は50℃以上に加温することが可能であり、且つ0.2～0.4MPaの加圧が可能な歯科技工用重合装置

### 【使用方法】

#### 1) 混和法

- ① 混和器に粉 2.0g に対し、液 1.0mL の割合でまず液を取り、次いで粉を加えて、素早くスパチュラ等で10～15秒間混和します。
- ② 混和終了後、90～120秒で軟かい餅状物となり、適度な状態になったところで目的部に圧接します。
- ③ 混和終了後、3分で硬化が始まるので、それまでにすべての操作が終わるようにします。
- ④ レジンの硬化後、通法に従い研削・研磨仕上げを行います。

#### 2) 混和注入法（シリコンコア法）

- ① 混和器に粉 2.0g に対し、液 1.0mL の割合でまず液を取り、次いで粉を加えて、素早くスパチュラ等で10～15秒間混和します。
- ② 混和終了後、気泡を巻き込まないように注意しながら、素早く、予め印象採得したシリコンコアにレジンをし込みます。
- ③ レジンの硬化後、通法に従い研削・研磨仕上げを行います。

※1) ～2) の重合時、気泡の発生を最小限に抑えるためには、「フィットレジン マルチキュア」又はそれと同等の性能・機能を有する歯科技工用重合装置を使用し、0.2MPa、40～50℃温水中で、10分間加圧重合します。常温大気圧下でも重合可能ですが、より気泡が少なく透明性の高い硬化物を得るためには、加圧重合を推奨します。

#### 3) 保存

レジンは、粉液混和後から約7分程度で（常温）重合が終了します。重合したレジンが口腔内に装着するまでは水中に保存し、残留モノマーを溶出させます。

### 【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 液は揮発性であるため、使用后、速やかに蓋を閉めること。
- 2) 本材の粉と液は必要量だけを取り出して使用すること。なお、余剰分は元に戻さないこと。
- 3) 取り出した粉液は、速やかに使用し、長時間放置しないこと。
- 4) 口腔内で用いる場合は、本材の混和物は、重合する過程で発熱を伴うことから、温度上昇を感じた場合は速やかに口腔外に取り出し、火傷や歯髄壊死等を起こさないよう注意すること。
- 5) 義歯床用熱可塑性レジンで製作した義歯を補修する場合、液材との接触によりマイクロクラックが入る場合があるので注意すること。

### 【使用上の注意】

#### 【重要な基本的注意】

- ① 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- ② 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- ③ 本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。
- ④ 本材の液成分にはメタクリル酸系モノマーを含んでいるため、蒸気を吸入しないこと。万一、気分が悪くなった場合は、新鮮な空気の中で暖かくして休憩すること。また、頭痛、めまい、吐き気、呼吸困難等の重篤な症状を伴う場合は、すぐに医師の診察を受けること。
- ⑤ 本材の液は可燃性であるため、必ず火気を避けて使用すること。
- ⑥ 本材を使用する際には、適切な換気（1時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
- ⑦ 本材を用いた硬化物の研磨作業等の際には、粉塵による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用すること。
- ⑧ 本材の液又は液と粉の混和物は皮膚に付着させたり、目に入らないよう注意すること。皮膚に付着した場合には、すぐにアルコール綿などで拭いた後、流水で洗浄すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

### 【保管方法及び有効期間等】

#### 【保管方法】

- ・本材は、高温、多湿、直射日光、火気等を避けて、室温（1～30℃）、暗所で保管すること。
- ・本材は同一保管庫に大量に保管しないこと。
- ・本材の使用場所及び保管場所には消火装置を備えること。
- ・本材は歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

#### 【有効期間】

本材の使用期限は包装に記載のとおり。

【当社データによる】

※(例)  YYYY-MM-DD は→使用期限 YYYY年 MM月 DD日を示す

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社 松風  
住所 〒605-0983  
京都市東山区福稲上高松町 11  
電話番号 075-561-1112